

COLLABO

2024 Vol.3



特集 放課後子供教室コーディネーター

桶川市立日出谷小学校放課後子供教室
日出谷小あいあい広場





特集

教室後子供放課 コーデイネーター

今回ご紹介するのは、桶川市立日出谷小学校放課後子供教室・日出谷小あいあい広場。桶川市の放課後子供教室は、すべての子供を対象として、放課後小学校の一部を借りて、子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）をつくることを目的として実施している。前半の第一部は子供たちの自主的な学習の時間（宿題をする、本を読む等一人で静かに取り組む時間）。後半の第二部では、ふれあいの時間（体験活動や交流活動として様々な遊びを行う時間）としている。

大変だけど大切

日出谷小あいあい広場は、週五日の月曜日から金曜日に教室を開いている。登録児童は五十三名（九月十五日時点）。三十名を上限に児童が教室に通っている。週三日通う児童もいれば週二日通う児童など、参加児童は曜日ごとに異なる。また放課後児童クラブからも登録している児童が参加する。当日の欠席もあり、参加児童を把握するため、児童名簿による確認は欠かせない。ときには児童が間違っ



開室前の教室



児童名簿をチェックして出欠を確認



はじまりの会



児童の確認ボード

あふれる思い
 コーディネーターの小川さんは、桶川市の放課後子供教室の立ち上げから活動に携わっている。元教員の経験もあり、子供たちの活動に気を配り、常に笑顔で子供たちに声を掛けていた。小川さんは、「あいあい通信」を月1回発行して活動内容の報告や活動予定を保護者にお知らせしている。通信をいただいたがカ

て家に帰ってしまったり、放課後児童クラブへ行ったり。学校・保護者・放課後児童クラブと連絡を細めに取り合い参加児童の確認に細心の注意を払っている。訪問時も児童が入室する前に、机の上に名札を並べたり、学習ファイルに参加児童の分だけ用意するなど、事前準備をしっかりと行っていた。

であい・ふれあい・まなびあい
 日出谷小あいあい広場の「ふれあいの時間」では、楽器を演奏したり、風船バレーボールやボッチャなどのスポーツを行ったりと、放課後子供教室コーディネーターのアイデアで様々な活動が実施されている。これらの方や団体に協力員と

ラー刷りでも見やすい。何より掲載される写真を見ると、通信からあふれる子供たちの楽しそうな笑顔でいっぱいである。また、小川さんは地域の方と頻繁に連絡を取り合い、「ふれあいの時間」の打合せや確認をしている。子供たちにあいあい広場で楽しく素敵な時間を過ごしてもらいたい。そんな思いが小川さんのお話から伝わってきた。



コーディネーター
小川 泰子 さん

して参画いただいている。訪問した日のふれあいの時間では、協力員の加藤さんが手作りの人形と舞台を持参して、読み聞かせと人形劇を実施。加藤さんは自宅に「おひさま文庫」を開設して地域の親子に読み聞かせや本の貸し出しをされている方だ。
 劇の始まりとともに人形のカスパー君が児童に声を掛ける。「みんな、元気?」。「元気!」と



ふれあいの時間・人形劇の様子

子供たちから大きな声が返ってくる。

人形のカスパー君が物語中に何度も児童に語り掛ける。児童の反応が素早く元気である。ずっと笑顔で見続けている児童。物語の内容に合わせて顔を隠したり、体をよじったりする児童。児童は熱心に物語の世界に入っていた。人形劇を行った加藤さんに伺うと、「子供たちに呼びかけると返事をしてくれるので、物語に活気が出て、楽しく人形劇をすることができた。」と笑顔で話されていた。

笑顔がつながる

地域の方々の参画により、多くの子供たちが地域の方とつながり、交流・体験して笑顔になっていく。

あいあい広場に参加した児童に話を聞くと、「人形

劇が面白かった」、「絵本や人形劇が楽しかった」、「人形が可愛かった」とのこと。充実した時間を児童は過ごしていることがうかがえる。あたる児童は、「あいあい広場は宿題も（スタッフに見てもらい、異学年のみんなど仲良く遊べるので楽しい」と話してくれた。

あいあい広場のスタッフの輪も広がっている。「お子さんがあいあい広場に来ているので、お話を通してお母さんをスタッフに誘っちゃいました。」と小川さんは笑顔でそばにいたスタッフを紹介してくれた。

楽しく活気ある日出谷小あいあい広場は、子供たちを優しく包んでいる。あたたかい場所であった。



ふれあいの時間・協力員の加藤さん

特集 放課後子供教室コーディネーター

地域学校協働活動 NEWS

埼玉県放課後コーディネーター研修会

令和6年8月23日（月）会場：埼玉県県民健康センター

講師

宮田 美恵子 氏

特定非営利活動法人
日本子どもの安全教育総合研究所
理事長

演題

放課後の子どもの安全管理と指導のポイント

概要

- 放課後の子どもを守るために
- 被災時の子どもへの心のケア
- 要支援児への防災指導のポイント
- 発達障害のある子どもへの対応方法
- 避難訓練のあり方
- 合図やサイレン等による体験的学習
- 不審者侵入防止訓練

ワークショップ

放課後の防災・防犯訓練における連携について

事例発表者

川島町教育委員会
生涯学習課

事例タイトル

川島町地域子ども教室の概要

概要

- 各地区での活動内容
- 子どもたちの安全確保のために

事例発表者

社会福祉法人

富士見市社会福祉事業団
放課後児童クラブ事務局

事例タイトル

放課後児童クラブの活動と地域子ども教室との連携について

概要

- 鶴瀬わくわくクレインキッズと放課後児童クラブの連携について
- 南畑あそび隊と放課後児童クラブの連携について

参加者の声

名簿やマニュアルの重要性を再確認した。また、震災後の子どものケア対応まで考えられていなかった。要支援の子への対応も普段から習慣づけてパニックにならないような訓練をすることも必要だと思った。

（放課後子供教室関係者）

同じ市町村でも他地区の交流は少ない。川島町の放課後子供教室の交流会は他地区をつなげる良い取組と感じた。

（行政関係者）

防災・防犯はPDCAでしっかり考えて行っていないといけないと感じた。訓練を大切に、全体で話し合っていきたい。

（放課後児童クラブ関係者）

防災訓練を実施することで満足していた。早速災害時の動きについてスタッフや保護者と再確認していきたい。放課後子供教室との連携もしていきたい。

（放課後児童クラブ関係者）

富士見市では放課後児童クラブと放課後子ども教室の合同イベントを実施していた。イベントをすることで放課後児童クラブと放課後子ども教室の交流が生まれ、地域にも活動を知ってもらい、スタッフの増加にもつながるかもしれないと思った。

（放課後子供教室関係者）

埼玉県 放課後子供教室 活動見学会

定員

15名

(先着順)

▶ 放課後子供教室の活動内容の充実を図るため、放課後子供教室関係者を対象に開催します。

放課後子供教室活動見学会

日時

12月26日(木)
12:45 ~ 14:50

会場

嵐山町ふれあい交流センター
〒355-0221

嵐山町大字菅谷445-1

アクセス

武蔵嵐山駅から 徒歩 6分

内容

嵐山町・放課後子供教室
スイミーの活動見学

- 取組説明
- 活動見学：お正月飾りづくり
- 質疑応答

申込方法

右記の二次元コードもしくはURLからお申込みください。

申込期間

11月11日(月)0時 ~ 12月12日(木)23時59分

【URL】

https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=76689



受講までの流れ



二次元コードから
お申込みください。



登録アドレスに
開催1週間前までに
受講決定通知が
届きます。



登録アドレスに、
研修開催3日前を
目途に資料が届き
ます。



当日、会場まで
お越しください。